

## 2月定例会等の傍聴及びアンケート集計結果について

### 1 趣旨

標記の内容について報告するものです。

### 2 傍聴者数（協議会、部会を含む。）※傍聴者のいない会議日の記載は省略（人）

開催日	3月 2日	3月 3日	3月 4日	3月 5日	3月 6日
本会議	11	9	8	—	—
委員会等	—	—	—	1	8
開催日	3月 9日	3月 12日	3月 16日	合計	
本会議	—	—	14	42	
委員会等	2	3	3	17	

### 3 アンケート集計結果 ※複数回答があるものは、割合の総和が100%を超えます。

#### (1) 本会議（回答者：延べ19人）

質問項目	人数・割合	回答者数 (人)	割合 (%)
年 齢	～19歳	1	5.3
	20～39歳	2	10.5
	40～59歳	3	15.8
	60～79歳	11	57.9
	80歳～	2	10.5
	回答なし	0	0.0
傍聴回数	はじめて	5	26.3
	2回～4回目	5	26.3
	5回目以上	8	42.1
	回答なし	1	5.3
傍聴の動機や目的 ※複数回答可	議会や市政に関心がある	10	52.6
	議案や質問内容に関心がある	12	63.2
	議員に誘われた	5	26.3
	所属団体や知人に誘われた	2	10.5
	その他	1	5.3
	回答なし	0	0.0

質問項目	人数・割合	回答者数 (人)	割合 (%)
議員の発言について (質問や意見)	よくわかった	8	42.1
	だいたいわかった	5	26.3
	よくわからなかった	1	5.3
	回答なし	5	26.3
市長や職員の 発言について (答弁や説明)	よくわかった	5	26.3
	だいたいわかった	7	36.9
	よくわからなかった	2	10.5
	回答なし	5	26.3

(2) 委員会等（回答者：延べ2人）

質問項目	人数・割合	回答者数 (人)	割合 (%)
年 齢	～19歳	2	100.0
	20～39歳	0	0.0
	40～59歳	0	0.0
	60～79歳	0	0.0
	80歳～	0	0.0
	回答なし	0	0.0
傍聴回数	はじめて	2	100.0
	2回～4回目	0	0.0
	5回目以上	0	0.0
	回答なし	0	0.0
傍聴の動機や目的 ※複数回答可	議会や市政に関心がある	2	100.0
	議案や質問内容に関心がある	0	0.0
	議員に誘われた	0	0.0
	所属団体や知人に誘われた	2	100.0
	その他	0	0.0
	回答なし	0	0.0
議員の発言について (質問や意見)	よくわかった	0	0.0
	だいたいわかった	0	0.0
	よくわからなかった	1	50.0
	回答なし	1	50.0
市長や職員の 発言について (答弁や説明)	よくわかった	0	0.0
	だいたいわかった	1	50.0
	よくわからなかった	1	50.0
	回答なし	0	0.0

## 4 傍聴者からの意見等

### (1) 本会議

#### 【議員の発言について】

- ・ ○○議員は結局何を主張したいのか分からない。ただ、話を聞いていないのだろうなという議員が半数以上いる中で彼がいちばん聞く姿勢がよく、見てみて気持ちよかったです。発言者に身体と顔を向けていたのは議員の中で彼だけでした。
- ・ 内容は別として伝えたいことは理解出来た。
- ・ 一問一答形式を全員に統一した方がわかりやすいのでは？
- ・ 路面電車の将来性、水素電車構想の提案は検討の価値があるのではないか（環境負荷の低減等）。
- ・ 不登校支援では、大人だけでなく子どもたちにも働きかけたことがよく分かった。

#### 【市長や職員の発言について】

- ・ 結論があったため、だいたいわかった。
- ・ 市長は声のトーンが良く聞き取りやすいので、職員の皆さんも参考にしてほしい。公立小学校の給食費無償化とのことですが、「学びの多様化を応援する」と市は言っているのだから、私立の生徒も支援してほしい。
- ・ 一問一答が良い。
- ・ 将来の方向性、質問者の提案に対する見解等の考え方についての見解が聞きたかった。
- ・ みんなミラ（みんなのミライ）、競争から共創へ。

#### 【自由意見】

- ・ ○○議員に対する教育長の発言は心にしみました。一人一人の子どもが成長しやすい（生きやすい）松本市であってほしいと思っています。
- ・ 「先例」の話が面白かった。議論をシンカさせるために委員会制度は大切だと思う一方、議論によって意見が変わることは良いことなので、途中で了承などを採るのをやめたらいかげんでしょうか。先例にしばられて議論がしばむのはもったいない。
- ・ 一つ一つ別々の質問ではなく、最初に全部の質問要項を言ってしまった方が聞きやすい。5回以上傍聴していますが、熱気のない退屈な場面が多く、傍聴人の少ない要因とも思える。いつも思うのですが、文面を読みあげるだけのやりとりは、熟知しての質問や回答ではなく、その場のみの感が強い。市幹部はもっと質問者の顔を見て回答したら、熱が伝わるのではないだろうか。傍聴していても退屈感すら覚えるということが残念です。質問は何日前に受け付けているのだろうか。その時に思ったことを言う会議ではないはずですし、質問者は必要以上の敬語はいらないのではないかと。議場の静寂状態も不思議。

- ・ 将来についてとても不安な気持ちになりました。松本市で働きたいという思いがなくなりました。
- ・ 松本のユースセンター設置に関する議論が否決されたことについて、残念に思っています。20年前、高校生だった私は、中高生の仲間とともにNPOで活動し、Mウイングの会議室を拠点に企画や場づくりに取り組んでいました。夜遅くまで話し合いや制作を続け、閉館の22時ぎりぎりまで作業をしていたこともあります。夜に高校生が集まっていると、「何か悪いことをしているのではないか」と言われたり、看板づくりで油性ペンを使っていた際に「シンナーの臭いがする」と心配されたこともありました。そんな時に、2階の事務所にいた市の職員の〇〇さんや〇〇さんが私たちを見守ってくれていました。「私たちがちゃんと見てるから、大丈夫。思いきりやりなさい」その言葉に背中を押されながら、仲間と切磋琢磨し、さまざまな企画や活動に挑戦していました。けれど、その魅力は建物の中だけにあっただけではありません。〇〇さんたちは、地域には面白い活動をしている大人がたくさんいるのだと教えてくれました。「こんな人がいるよ」「こんな活動もあるよ」そうして紹介してもらった場所へ仲間と足を運び、地域で活動する大人たちと出会い、話を聞き、時には一緒に企画をする。Mウイングは拠点ではありましたが、活動のフィールドは街の中へと広がっていき、高校生であっても対等に話をしてくれる大人がいること。この街には、面白い挑戦をしている人がたくさんいること。その出会いの中で、「この街で出来ないことはない」そう思うようになりました。当時から、茅野市にあったユースセンター「チノチノ」が本当に羨ましく、〇〇さんと「Mウイングにもユースセンターをつくりたい」と夢を語ったことを覚えています。それから20年が経ちました。ユースセンターを求めていた17歳は、まもなく40歳になります。出産や子育てを経験し、ライフステージが変化する中で、自分の子どもがこの街で育ったとき、この街を好きだと思ってくれたら。そんな思いと、かつて支えてくれた大人たちのように、次は自分たちの世代がその役割を担う番なのだと感じ、市民活動を続けています。原点にあるのは、「この街で出来ないことはない」と思わせてくれた人の存在です。場所や空間を整えることも大切です。けれど枠をつくることだけでなく、「やっぺいこう」と決断すること、そしてそれを進めていくリーダーシップもまた必要なのだと思います。ユースセンターを求めていた17歳の願いが、これ以上先送りされることなく、次の世代のために前へ進んでいくことを願っています。
- ・ 今回はユースセンター条例について興味があり傍聴しました。〇〇議員が仰っていた通り、問題意識が足りず、よくよく反対議員の理由を聞いてみたら「反対」となった議員が多すぎる気がしました。取り扱う議題数や期間を鑑みても全てに対して丁寧に時間を割くことは出来ない部分もあるかと思いますが、だったら前に進める方向で議論出来るように議事者への助言などを施していただくのが筋かと思います。「反対と言ったら何が何でも反対」という姿勢自体が今後も議会運営もしくは市政の運営を停滞させる原因になるかと思います。また、

議員自身が誹謗中傷を受けたとか、名誉毀損だとかそんな話は「討論」には関係ないと思います。ご自身の発言に自信持ってください、それに対するご意見に真摯に耳を傾ける。市民の声を聞くことが議員の職務ではないのでしょうか？その覚悟がおありになる皆様だと思っていたので、身の保身に走る姿や発言を聞いていて残念でした。議員は決することが主たるお仕事かとは思いますが、ユースセンター設置に対する議論は「決して終わり」ではなく最後まで見届けていただき、メディアのみならず議員の皆様全員が自分の口で進捗報告をしていただきたいと思いました。

- ・ 暖房がききすぎて、会場内が適温ではない。
- ・ 資料をクリアファイル等に入れていただきたい。
- ・ システム異常は何だったの？

## (2) 委員会等

### 【議員の発言について】

- ・ 私の能力不足で、内容がよく分からなかった。

### 【市長や職員の発言について】

- ・ 少し専門的な内容が多く、分からない点はあった。
- ・ 私の能力不足で、内容がよく分からなかった。